



## 目白台・小日向ルート、乗車人数は20%の伸び

平成25年12月12日にBーぐる沿線協議会が開催され、バス運行事業者である日立自動車交通㈱の西窪委員から平成25年度上半期（4～9月）のBーぐる2路線の乗車人数の報告がありました。

千駄木・駒込ルートは254,801人（一日当たり1,392人）で前年度とほぼ同じ状況でしたが、目白台・小日向ルートは沿線住民の認知度が上がってきたこともあり、193,979人（同1,060人）で前年上半期と比較して約20%増加しています。

西窪委員から、今後の見通しについて、「千駄木・

駒込ルートでは運行開始から3年間の伸びが大きかった。使用する車両の定員もありいずれ頭打ちになるだろうが、目白台・小日向ルートは来年度もまだ伸びが期待できる」。また季節変動についても、「冬場に乗車人数が落ち込むのは都内のコミュニティバスに共通の傾向。高齢者の利用が多く、冬場は通院等の外出機会が減るが、夏場は暑いので短い区間でも乗ろうかという気持ちが働くのでは」と分析しています。

## Bーぐるに関する区民アンケートを実施しました

事務局から、10月に実施したBーぐるに関する区民アンケートの集計状況の報告がありました。

この調査では文京区在住の18歳以上の男女3,032人（無作為抽出）に調査票を配布し1,035人から回答を得ました。回収率は34.1%でした。

- 【調査名】 コミュニティバスBーぐるに関する区民アンケート
- 【調査対象】 文京区在住の18歳以上の男女
- 【調査期間】 平成25年10月1日～10月18日
- 【調査方法】 郵送法
- 【回収数】 1,035票（発送3,032票、回収率34.1%）

回答者の男女比は1:2、年代別では若者（10・20歳代）、子育て世代（30・40歳代）、中高年（50・60歳代）、高齢者（70歳以上）の回答者の比率が1:4:3:2の割合であるなど、配布状況と比較して偏りがみられたことが特徴です。

また回収率においても中高年や高齢者の回収率が高いなど、年代間で差がみられることから、ふだんBーぐるを利用したり、Bーぐるへの関心が高い人からの回答が多かったことがうかがえます（表1）。

表1 調査対象者・回答者の属性と回収率

		調査対象者 構成比(%)	回答者 構成比(%)	回収率(%)	(参考)Bーぐる 利用者構成比(%)
性別	男性	48.2	33.8	24.0	32.8
	女性	51.8	66.2	43.6	67.2
年代別	若者 (10・20歳代)	18.7	8.5	15.5	10.1
	子育て世代 (30・40歳代)	41.4	40.3	33.2	36.0
	中高年 (50・60歳代)	23.7	30.7	44.3	34.3
	高齢者 (70歳以上)	16.2	20.5	43.1	19.6
合計(回収率平均)		100.0	100.0	34.1	100.0

これに関連して、ふだんからよくBーぐるを利用している委員から「乗客が運転手さんにあいさつをしたり、お礼を言ったりする光景はコミュニティバスならではの良さがある」、「運転手さんの対応に好感が持てる」といったBーぐる車内の雰囲気や運転手さんの心遣いが伝わる意見が寄せられました。

また、自転車の走行がバスの運行上、支障になる

ことはないかという質問に対し、西窪委員からは「白山通りなどではいわゆる『逆走』が多発しており、運転士も気を遣っている。また自転車が歩道でバス待ちする客のすぐ横をすり抜けて危険。自転車利用者にもルールやマナーが周知されるよう関係者にもお願いしたい」という意見が出されました。

## Bーぐる市を開催、沿線協議会の活動をPR

公募委員の饗場委員からは、平成25年12月7日に区民センターで開催したBーぐる市の報告がありました。

Bーぐる市は日立自動車交通㈱の協賛で、毎年文京ボランティア・市民活動まつりと同時開催しており、3回目となる今年はブース内のあちらこちらに飾られたイメージキャラクターの「びい」や「るう」のデコレーション、線に沿って走るバスの展示が子供たちにたいへん好評でした。

また、沿線の協力店とタイアップしたBーぐる特製どら焼きやパンケーキ等の販売、バスとサンバイザーの工作コーナー、愛犬の写真募集、Bーぐる(千

駄木・駒込ルート) 車内で放映されているDVDの放映など、盛りだくさんの企画で盛況のうちに無事終了しました。

「昨年よりも展示が進化している印象。来場者も楽しそうだし、何よりも自分たちも楽しむことが大事」との元田会長のコメントや、参加委員からは「Bーぐるストラップを付けていたら、どこで売っているのかと声をかけられる。かわいいので、販売したらどうか」、「活動体制を強化するためにも、寄付金を募る等の仕組みがあるとよい」など、今後の沿線協議会の活動指針の参考となる意見が多数寄せられました。



線に沿って走るバスの展示を興味深く見つめる子供たち



Bーぐるどら焼きとパンケーキの販売



Bーぐるバスとサンバイザーの工作コーナー

### 編集後記

運転マナーの悪い自転車の対応に、Bーぐるの運転手さんはとても神経を使っているそうです。これまでBーぐるが安全に運行されてきたのは、こうした運転手さんの配慮があってはじめて成り立っていることがよくわかりました。

公募委員を中心に開催したBーぐる市には大勢の子供たちが訪れ、なかなか盛況だったとのことでした。メンバーからは「キャラクターグッズの商品開発にも取り組みたい」と意欲的な発言もあり、新しい展開が期待されます。(N)